

デフレからの脱出を実現するためには、「ロケットダッシュ」が必要だ。日本経済に重く深く定着してしまっただレフレイマインドを払拭するには、経済の方向が変わったのだということも国民にも企業にも強く認識してもらわなければならない。だから一本の矢ではなく、三本の矢が必要なのだ。

大胆な金融政策と機動的な財政政策の2本の矢は、株価や為替の動きに表れているように、これまでのところその成果は出ている。ただ、ロケットダッシュだけでは十分ではない。経済が持続的に拡大していかなければならないからだ。そこで三本目の矢である成長



伊藤元重の

ニュースな見方

戦略が重要となる。最終的には民間の消費や投資が動かないことには、本當の意欲で経済に活力は出てこないからだ。

安倍総理は1月25日の日本経済再生本部の冒頭で、規制改革の重点分野として雇用、エネルギー・環境、健康・医療の3つを挙げた

と報道されている。規制改革や成長政策で取り上げられる分野はこれ以外にも多

くあるが、この3つを特に重点分野としたことには注目しなくてはいけない。

この3つの分野には重要な共通の特徴が2つある。ひとつは、現状で多くの深刻な問題を抱えており、改革なくしては日本経済に致命的な悪影響を及ぼすという点である。そしてもうひとつは、3つの分野のいずれも大きな変化が起これば経済全体を大きく浮揚させる原動力となると見られている。

改革姿勢徹底が投資呼ぶ

雇用や健康・医療についても同じことが言える。今のままの状態では大変なことになる。そう考えている人は多いに違いない。

も日本経済の隅々にまで深く、そして広く関わっている分野はこれ以外にも多

くあるが、この3つを特に重点分野としたことには注目しなくてはいけない。

この3つの分野には重要な共通の特徴が2つある。ひとつは、現状で多くの深刻な問題を抱えており、改革なくしては日本経済に致命的な悪影響を及ぼすという点である。そしてもうひとつは、3つの分野のいずれも大きな変化が起これば経済全体を大きく浮揚させる原動力となると見られている。

この3つの分野には重要な共通の特徴が2つある。ひとつは、現状で多くの深刻な問題を抱えており、改革なくしては日本経済に致命的な悪影響を及ぼすという点である。そしてもうひとつは、3つの分野のいずれも大きな変化が起これば経済全体を大きく浮揚させる原動力となると見られている。

この3つの分野には重要な共通の特徴が2つある。ひとつは、現状で多くの深刻な問題を抱えており、改革なくしては日本経済に致命的な悪影響を及ぼすという点である。そしてもうひとつは、3つの分野のいずれも大きな変化が起これば経済全体を大きく浮揚させる原動力となると見られている。

「成長戦略」重点3分野

の輸入コスト上昇で、貿易収支の大幅赤字が続く。富の流出が続いている。これを乗り切るには、徹底的な改革が必要だ。省エネや需要調整を進めるため、電力の小売り自由化、競争と安定供給を進めるため、電力ネットワークの広域を実現することである。1

イノベーションの本質とは、できるだけ多くの人を巻き込むことである。国民も変化を実感できるようにする必要がある。1

（東大大学院 経済学研究科教授）

*この記事は日本経済新聞社の許諾を得て転載しています。